

東日

オンライン授業の準備が進む

蒲都市内の小中学校で 教育長「通常授業に近い形に」

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、小中学校で短縮授業が続く蒲都市は6日、オンライン授業の導入に向けて準備を進めていることを明らかにした。定例市議会の一般質問で大場康議員(自民)ら複数の議員の質問に答え

市内の小中学校では夏休み明けから10日まで、給食なしの午前授業としている。壁谷幹朗教育長の答弁によると、学校ではこの期間にオンライン授業の準備を進めるという。

児童、生徒はすでに配布済みのタブレット端末を使い、自宅からオンラインで授業に参加することができようになる。マイクソフトのビデオ会議アプリ「Teams(チームズ)」を利用する。

現在、学校では児童、生徒がオンライン接続の練習をしたり、午後にはタブレットを自宅に持ち帰り、教室とつなげたりしている。オンラインで学級会を開いた学校もある。公衆無線LANサービス「WiFi(ワイファイ)」の設定準備も進めているという。

壁谷教育長は「オンラインは一方的な講義形式になりやすいが、通常授業に近い形にしたい。効果的な方法を検討している」と説明した。(多田雅有美)

東日

オンライン開催に変更

蒲都市港町の竹島埠頭(ふとこう)で19日開催を予定していた「みなとオアシスがまごおりライブ」は、オンライン形式に変更されることになった。新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、主催する海・みなと・蒲郡実行委員会が判断した。

動画投稿サイト「YouTube(ユーチューブ)」の実行委公式チャンネルで同日午後5時20分から配信する。ユッコ・ミラーさん、今岡友美さん、しがせいこさんが出演する。

浦郡実行委員会チャンネルのQRコード



中日

西浦町の埋め立て地水産会社が進出検討 蒲都市、議会で答弁

蒲都市は6日、西浦町の蒲郡漁協西浦支所近くにある未利用の埋め立て地に、市内の水産加工会社が進出を検討していることを明らかにした。同日の市議会定例会の一般質問で、尾崎広道議員(蒲郡自由クラブ)の質問に答えた。

市によると、埋め立て地は漁協近くの知柄漁港北側にあり、県が一九九六年に整備した四万七千平方メートル。漁港内の荷さばき所や水産加工場などとして活用を想定していたが、未利用の状態が続いていた。

五月に水産加工会社から市に対し、埋め立て地の一面に加工場を新設したいとの相談があり、六月以降に会社と県、市、蒲郡漁協の四者で進出希望地や地盤の高さなどの確認を進めてきたという。

ただ、池田高啓・産業振興部長は「漁港内のインフラ整備などあらためて検討する事項が生じたため、関係者で協議を進めている」と述べ、着工時期は未定とした。

このほか柴田安彦(無党派)、藤田裕喜(蒲郡市政クラブ)、松本昌成(公明)、大場康議(自民)、喚田孝博(同)の五議員が質問した。

中日

蒲郡、19日の野外ライブ オンライン配信に変更

蒲都市で十九日に予定される野外音楽イベント「みなとオアシスがまごおりライブ」について、実行委は6日、無観客のオンライン配信で開催すると発表した。当初は観客を入れる予定だった。

新型コロナウイルスの感染拡大が続いていることが理由。当日は午後五時二十分から、予定していた竹島埠頭特設ステージとは別会場で行われ、動画投稿サイト「ユーチューブ」の「海・みなと・蒲郡実行委員会」のチャンネルで配信する。無料で視聴できる。

ライブは市やラグーナナインボス、ラグナマリナーなどで行っている実行委が日本財団の支援を受けて、実施する「海と日本プロジェクト」の一環。三重県伊勢市出身のサックス奏者ユッコ・ミラーさんをはじめ、三組は予定通り出演する。

東愛知

「源氏物語」写本など展示

戦国時代の武士 本興寺所蔵する書物17点 鵜殿氏ゆかりの品

蒲都市博物館

蒲都市博物館で、コーナー展示「鵜殿氏ゆかりの『源氏物語』と鷺津本興寺の典籍」が開かれている。26日まで。

鵜殿氏は、戦国時代に蒲郡の地を治めていた武士で、神ノ郷町に存在した「上ノ郷城」の城主を務めた。一方で本興寺は静岡県湖西市にある国指定の重要文化財の寺院。寺が発展した戦国時代、鵜殿氏や東三河の武士が、寺に寄進をしていた。

博物館は、県立大学が進めていた本興寺の資料調査の成果として「源氏物語」の写本など寺が所蔵する室町から江戸時代までの貴重な書物17点を公開している。源氏物語の「初音」「鈴虫」「早蕨」が展示した戦国時代の「方丈記」の写本や寺の写真を展示、解説パネルを設置した。

本興寺の住職の紹介で訪れた浜松市の太田宗全さん(77)は「写本であっても、なかなか見ることができない貴重な資料だった」と話した。

【林大二郎】



展示されている源氏物語の写本 蒲都市博物館で



本興寺を紹介する写真パネル

中部経済

東海地方の地震と歴史題材に市民講座 蒲都市が来月

【三遠】蒲都市は10月、蒲都市栄町3の30の蒲都市民会館で、東海地方の地震と歴史を題材にした「愛知大学・蒲都市民教養講座」を2回開催する。

講師は、愛知大学名誉教授(地理学博士)の藤田佳久氏。1回目は2日、「歴史の中の東海地震を追う」について。2回目は16日、「戦時中の隠された地震を追う」について。いずれも午後1時半から。

定員は30人。申し込み多数の場合は抽選。参加費500円。申し込みは市生涯学習課(電話05333・661167)まで。